

# おうちの図工室・美術室

## 未来ガジェットのある生活

対象学年 高校1年生～高校3年生

想定時間 最低3時間～

### 題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

時に、20××年。科学技術の進歩により、身近なあんな機械や、こんな道具、はたまた、世の中のシステムも、今とは大きく変化しました。未来の道具やシステムのことをここでは「未来ガジェット」と呼びます。

さてみなさん、想像してください。20××年を。どんな日常でしょうか？

あなたは、20××年に、あなたはどんな生活を送ってみたいですか？

絵日記風に、20××年の未来ガジェットのある生活を絵にして、ささやかな未来の作文を添えてみましょう。

- 月、日、曜日、天気もわかるように示してください。示し方は自由です。
- パソコンで作っても、画用紙や、コピー用紙に絵の具や、ペンで描いてもいいですね。未来ガジェットのある生活を具体的に、リアルに表現してください。
- 用紙の大きさもあなたが未来を描きやすい大きさと表現してください。
- 作文や絵には、ぜひ自分以外の登場人物も入れてみてください。その人は家族でも、ペットでも、だれでもいいです。自分と他人との関係は、未来で変化するのでしょうか？
- 道具の進歩とともに我々の生活も変化していますよね。身近な道具がどんな変遷を遂げたかを調べ、それに伴い生活がどのように変化しているかを調べるとよいかもかもしれません。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。

### ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

#### 社会への広まり

今の自分が生活している、身の回りのものごと、環境、社会の制度など、すべてに歴史があり、この先さらに変化し続けていくことに思うことや、社会の営みと自分自身との関係が未来にどうあるべきかを考えることは、未来を創る子どもたちにとって大切なことと考えます。

#### 共感性

未来になるにつれて、環境がどのように変化し、それに伴い自分や周りの人の生活や感覚がどのように変化するのかについて考えます。

### 三観点

#### 知識・技能

家にある、素材や道具を活用し、テーマにそって表現しようとしている。

#### 思考・判断・表現

未来を実社会から具体的に想像し、未来の暮らしを絵や文章でわかりやすく表現しようとしている。

#### 主体的に学習に取り組む態度

未来を自身の経験などをもとに自分なりに想像して表現しようとしている。

# うちの図工室、美術室

## 活動の足あと・子どものことば



2080 4月20日(水) 晴れ↓雨

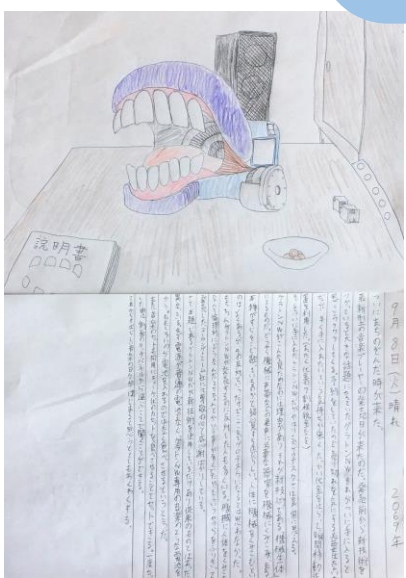
今日から日記をつけてみたいと思っています。紙は書くの、でもちとちとりのような気がしします。でも音が音から日記はノートという感じがわりと指のりハシリもかわって手記れしします。手記でも昔と同じようにすうすうと手を書きを長く、絵を描けるようになったこの補助テープには感謝です。テープがまた必要になり足す手の動作を補助してくれるなんて、びっくりしました。材料技術が発達してよくなることも多いのは医療関係なども思いますが、なにかを兼ねることも湧か一方で終わるからです。ずっと針に刺さるとも軽く、身軽に楽しく生活できています。今日は梅を植えていた暗いから雨に切り替わりました。空を覆う透明なガラスは温暖化を守るとも、暖かさを伝えてはいるけれど、節電がなれたと思いたいの、思いつく一つです。でもガラスの外は涼しいので、空知感を感じません。けれど静電気を言うならもう少しです。音があってもいいとは思いますが、明日は孫が来るので、一緒にたくさん遊んであげられるように、少し早めた就寝したいと思っています。早く起きて準備しないといけないです。

未来を想像することは簡単でも、形にするのは難しいと感じた

人の生活によりいっそう優しい科学技術が発達してほしいと願いました。

ロボットが生活に溶け込んだ世界をイメージして制作しました。しかし、機械に頼り続けることが温暖化などにつながってしまうような気がしました。

制作を通して、僕は個人の個性を大切にすることができる未来が来ることを願いました。作品をつくっていて、未来は想像することは簡単でも、形にするのは難しいと感じた。ばかげた想像であったとしても、そういう想像がまたできる未来であってほしいと祈った。



あまり考えたことのないテーマだったけれど、これからどうすれば良い方向に向かうか、いろいろ考えることができ、自分の意見を作品に出すことができました。